

# NPO法人マルイ・エンゲージメントキャピタル (MEC) はこれからも様々な地域貢献活動に取り組んでまいります。



MEC HP



NPO法人マルイ・エンゲージメントキャピタルの持続可能な5つの取り組み

- ① 住民参加型のまちづくり推進活動
- ② つながり重視のコミュニティデザイン事業
- ③ 次世代育成を目的とした各種体験事業
- ④ 様々な立場にある個人・団体との協働事業
- ⑤ 寄附付き商品事業による小学校の活動支援

マルイとメーカー様、生産者様、地域のお客様が一体となった寄附付き商品活動を通じて、より質の高い教育が受けられるように、地域の小学校の要望に沿った品物を贈呈しています。



4月11日津山市立西小学校にて贈呈式を実施。津山市内の新1年生を対象に合計900個の防犯ブザーをプレゼントしました。



### ■電子ピアノの贈呈



(岡山市立妹尾小学校)

寄附付き商品を活用した地域貢献活動は15回が終了。累計8,265万円を超える寄付を行っています。これからも地域の未来を担う子どもたちへの支援活動として継続していきます。

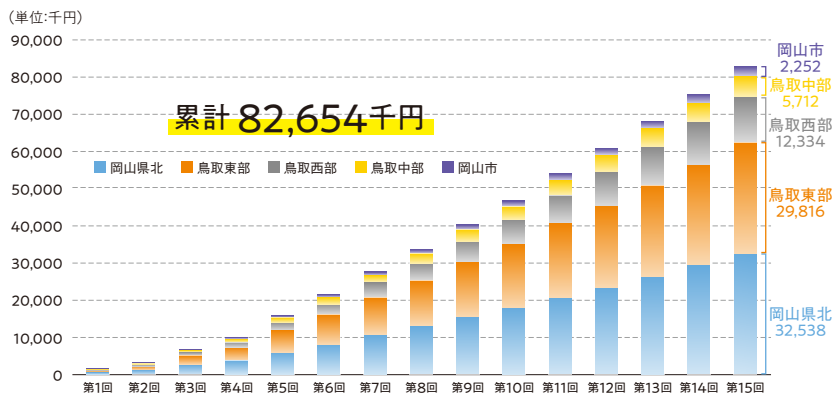
### ■プログラミング教育支援機材の贈呈



(鳥取市立美保小学校)

(鳥取市立青谷小学校)

## 寄附付き商品 寄付累計額 (2015年度~2022年度9月末)



## このマークが寄附付き商品の目印です。

対象商品お買い上げで、生産者様、メーカー様、マルイが1円ずつ寄付するシステム。商品については、商品部が取引先様と調整のうえ、毎年商品を決めています。全店共通のメーカー食品から、エリアごとの商品、季節に応じた商品まで多彩に選定しています。



寄附付き商品の一例

## 津山の交流・魅力発信基地 Ziba Platform!

「まちライブラリー」は年間約500名の方に

ご利用いただきました。



Ziba Platform 小島康子  
人とのつながりが希薄になってきた今、世代を超えて多くの方が集まり交流できる場所、そして津山の魅力を発信できる、そんな場所を目指しています。

## Ziba=地場のための磁場

Zibaでは、地元津山から未来に向けた情報を発信するとともに、市民の憩いの場やコワーキングスペースとして、世代を超えてフレキシブルに活用いただいています。



岡山県津山市山下46-19



レインフォレスト・アライアンス認証の豆を使用したコーヒー



地域循環への取り組みとして、カレーは、なぎビーフ、地元野菜を使用



津山市立図書館と連携し、本の貸し出しを行う「まちライブラリー」

## 「住みたいまち」をゴールに私たちができることを考えるSDGs ミーティング



八王子学園なかよし幼稚園 清水弘美園長を講師にお招きし、「こどもたちに何ができるか」をテーマに開催。

## コワーキングスペースはビジネスに、また学生の学習の場としても人気!



受験勉強に勤しむ男子高校生。学校や家よりも静かに集中できるから定期的に利用している人も多くいます。



河田典子さんが講師を務めるデジタル文化教室NaN。ぬくもりある空間が受講生に喜ばれています。



「聴覚障害・手話言語について」では、津山市環境福祉社社会福祉事務所の職員の方を講師に、地元の高校生が差別解消や手話言語について学び、これからの津山について話し合いました。

特定非営利活動法人 マルイ・エンゲージメントキャピタル  
理事 神田 一幸

「絆」というテーマをもとに人と人、地域と企業が繋がり、より開かれた社会と未来をつくる為に、2014年にNPO法人マルイ・エンゲージメントキャピタル(以下:MEC)を設立しました。MECはマルイグループの地域貢献をより具現化する役割も担い、岡山・鳥取・島根県において生活・文化・環境の向上を図り、地域活動に寄与する事で持続可能な社会の実現を目指しています。



全国に先駆けて2006年に食育推進室を発足。  
お客様に様々な形で食の大切さの  
“気づき”を提供しています。



食育活動 HP

**離乳食イベント**  
赤ちゃんが健康に育つための離乳食の進め方や月齢別の離乳食・食事支援のポイントについての講義、月齢別の離乳食料理教室を行いました。  
●連携:カゴメ株式会社

**自由研究セミナー**  
カレーの美味しさを探るため、カレーに使用されているスパイスについて学び、スパイスを組み合わせてオリジナルカレー粉づくりを実施。オリジナルカレー粉を使ってカレーライスづくりにも挑戦しました。  
●連携:エスピー食品株式会社

**本格スパイス教室**  
本格的な「スパイス料理教室」をオンラインで開催。イベントでは、スパイスの種類や使い方の講義、スパイスを使用したカレーづくりやサラダづくりを行いました。  
●連携:ハウス食品株式会社

**お菓子工場見学**  
普段食べているお菓子がどのようにして作られているのか、オンライン工場見学を実施。また、お菓子の手づくりキットを使用したお菓子の工作を楽しみました。  
●連携:株式会社ロッテ

**黒豆豆腐づくり**  
黒豆を使用して一からの豆腐づくりを行いました。豆腐を作る過程で出るおからを使用した卵の花づくりも実施し、余すことなく豆腐づくりを楽しみました。  
●連携:おばあちゃんの台所

**オンライン食育イベント2022年度も好評開催!**

コロナ禍により、マルイでは、過去リアルで実施してきたイベントを、2020年度より「ZOOM」を活用したオンラインスタイルに移行。回を重ねるごとに、進行もスムーズになり、イベント会場まで足を運ばないお客様にも参加していただけるようになりました。今後お客様のニーズや、社会状況に合わせて、よりよい形を追求していきます。

**酪農体験イベント**  
生産者の方に協力いただき、農業体験や調理・加工体験を通じて、食料供給の工程や地域の食文化の継承など、食と農業に関するプログラムを年間を通して実施。  
●連携:ファーム山下

**ひなまつりイベント**  
美術大学のサークルの方による絵本・紙芝居の読み聞かせや、工作、また取引先様によるフラワーケーキ作りを実施し、季節の行事を楽しんでいただきました。  
●連携:株式会社Mizkan

**ハロウィンお菓子教室**  
おうちで簡単に作ることができる型抜きクッキーの料理教室を開催。焼けたクッキーを缶に詰め、オリジナルクッキー缶づくりを実施しました。

**クリスマスお菓子教室**  
クッキーを焼いて、お菓子の家づくりを実施。お菓子で飾り付けを楽しんでいたお子さんオリジナルのお菓子の家づくりにチャレンジしました。

**広島お好み焼き教室**  
広島風お好み焼きについての講義、またお好み焼土直伝の親子料理教室を開催。完成したお好み焼きに絵やメッセージを書くアートにも挑戦しました。  
●連携:オアフコンス株式会社

教育機関と  
連携した  
商品開発

地域の学生達と共同で「地産地消」「健康増進」をテーマとした商品開発に取り組んでいます。

郷土料理を使った彩り豊かなお弁当が完成!  
ドキドキの売場体験!  
美作大学短期大学部栄養学科の皆さんによる「からだ健康弁当」1日に必要な1/3の食物繊維がとれる!  
鳥取短期大学生活学科、美作大学短期大学部栄養学科の学生さんともお弁当開発に挑みました!

岡山県立津山東高等学校の生徒さんと共同で様々なお弁当を開発、「おいしく減塩!高校生レシピコンテスト」を開催しました!

鳥取短期大学生活学科の皆さんによる「まんてん野菜弁当」1日の目標量の半分の野菜(175g)がとれるカラダに優しいお弁当です!

鳥取短期大学のマスコット「とりたん」が売場応援に!

鳥取短期大学のマスコット「とりたん」が売場応援に!

毎月19日は「マルイ食育の日」

地域のお客様、未来を担う子どもたちへ、レシピ提供やイベントなど様々な形で食育を提唱。“食”について楽しみながら考える機会としています。



第15回食育月間 子ども絵画コンクール入賞作品

毎年6月に岡山県・鳥取県・島根県(出雲市)の小学生を対象に「食」の楽しさ・大切さを伝えることを目的として開催している絵画コンクール。15回目となる今回は、鳥取県教育長賞が新たに加わり、応募総数4,000点を超える作品が寄せられました。



審査風景

<p>マルイ社長賞</p> <p>低学年の部</p>	<p>津山市長賞</p> <p>低学年の部</p>	<p>津山市教育長賞</p> <p>低学年の部</p>	<p>岡山県教育長賞</p> <p>低学年の部</p>	<p>鳥取県教育長賞</p> <p>低学年の部</p>
<p>中学年の部</p>	<p>中学年の部</p>	<p>中学年の部</p>	<p>中学年の部</p>	<p>中学年の部</p>
<p>高学年の部</p>	<p>高学年の部</p>	<p>高学年の部</p>	<p>高学年の部</p>	<p>高学年の部</p>

お米について学ぶ  
出張授業

半年を通じて  
しらゆり幼稚園で  
開催!



お米ができるまでを座学で学び、田植えを体験!

待ちに待った収穫体験!はさみを使って上手に稲刈り!おにぎりにして試食しました。

最後は藁を使ったお飾りづくりに挑戦しました。

美作大学附属幼稚園にて野菜の授業

小学校ではプラントベースフード授業

美作大学附属幼稚園  
津山市の小学校でも  
様々な出張授業を  
開催しました!



野菜について知れたかな?

連携:大塚食品株式会社

# 持続可能な低炭素社会の実現

店舗を核としてお客様と地域を巻き込み  
カーボンニュートラルな社会の実現に挑戦。



CO<sub>2</sub>総排出量を2018年度基準で30%削減する目標を達成!  
今後は日本の削減目標である、2013年度基準46%削減に挑戦

**達成手段**

- 省エネ** 店舗使用電力の削減 (AI空調管理及びAIデマンド管理システムの推進)
- 再エネ** 再エネ転換 (太陽光(PPA・自家消費) その他再エネ由来電力の活用と環境価値の向上)

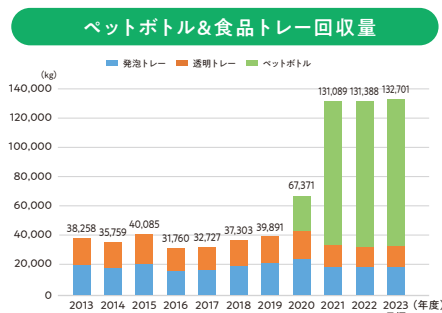


AIデマンド管理システム：エナッジ

**2018年度CO<sub>2</sub>排出量**

LPG	270t-CO <sub>2</sub>
都市ガス	5t-CO <sub>2</sub>
電気	20,508t-CO <sub>2</sub>
<b>合計</b>	<b>20,783t-CO<sub>2</sub></b>

2022年度実績 **14,005t-CO<sub>2</sub>** (33%削減)



お客様と地域と共に持続可能な社会の実現

## 店舗でのペットボトルや食品トレーの回収量はこの10年間で約3.5倍に

2020年から有料化となったレジ袋のお客様負担金は、ペットボトル圧縮機の導入など、更なるエコ活動の推進に役立っています。



マルイでは瀬戸内海(岡山県)、日本海(鳥取県、島根県)に流出する海洋プラスチック問題の解決に向けて取り組んでいます。  
※瀬戸内海環境保全特別措置法 瀬戸内海の保全対策を行う理由から、昭和48年に施行。

## 子どもたちもペットボトル圧縮機で楽しくプラごみ削減!

# マルイの「エコ育」

再生率の高いペットボトル。その形状から、とてもかさばり、回収頻度も高くなるため環境への負荷が懸念されていました。そこでマルイが導入したのがペットボトル圧縮機です。今では、大人だけでなくお子さんが機械を利用して楽しみながらエコ活動に取り組む姿も見られます。



マルイの「エコ育」の取り組みとして、地域の子供達を対象にした「リサイクル教室」「エコキャンプ」を開催しました。



プラスチック製品の環境負荷低減の取り組みとして代替製品(木質、バイオマス)への変更や回収、再資源化の対策を続けています。

- ・プラスチック製スプーンの廃止
- ・レジ袋大、中をバイオマス由来(25%)へ変更
- ・店舗ではバイオマス由来のゴミ袋を100%使用
- ・食品トレーの薄肉化や、軽量高発泡のトレーの使用

## 店舗の環境活動の守護神!

ガーディアン

マルイ各店では店長&

環境3人組がチームとなり

エコ活動を推進しています。



ノースランド店:店長:守本 敏三、店頭回収担当:山本 紀子、廃棄物担当:鳥崎 真護、エネルギー担当:宮本 光

ノースランド店:店長

店頭回収担当

廃棄物担当

エネルギー担当

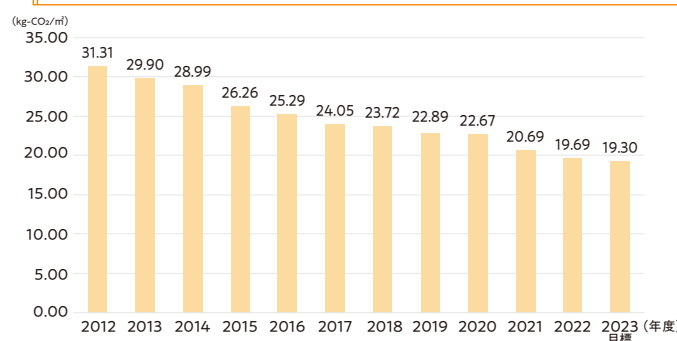
ノースランド店の2030年度の目標であるCO<sub>2</sub>総排出量は531t-CO<sub>2</sub>です。ノースランド店では、旗艦店として看板照明のON、OFF等店舗独自の省エネ、節電等のエコ活動を行い40%削減の455t-CO<sub>2</sub>を目標に掲げて全社を牽引していきます。

家庭から持ち込まれた分別ゴミを回収し、再資源化に。

廃棄物の分別と計量を行い、適量発注で食品ロスを削減。

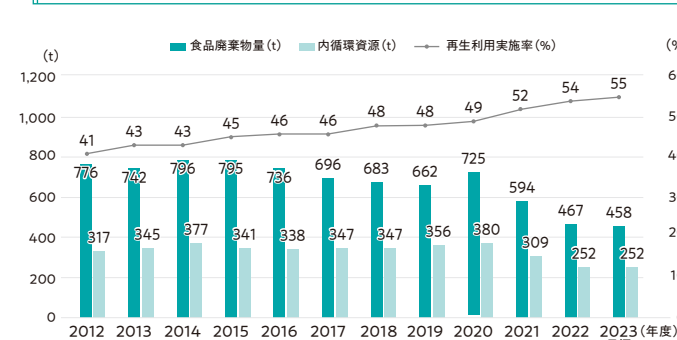
店舗のエネルギー使用量をチェックし、削減の提案を実施。

### 二酸化炭素排出量 2018年度比33%の削減を達成。



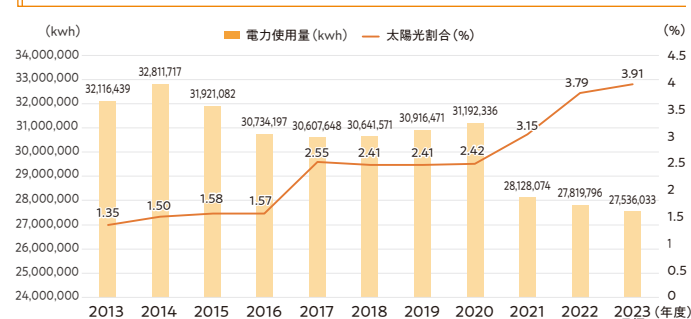
スーパーマーケット事業における、CO<sub>2</sub>総排出量の99%は電力によるものです。AI空調制御、AIデマンド管理や太陽光の自家消費による電力の削減に取り組んでいます。

### 食品廃棄物再生利用率 残り45%の有効活用が最大の課題です。



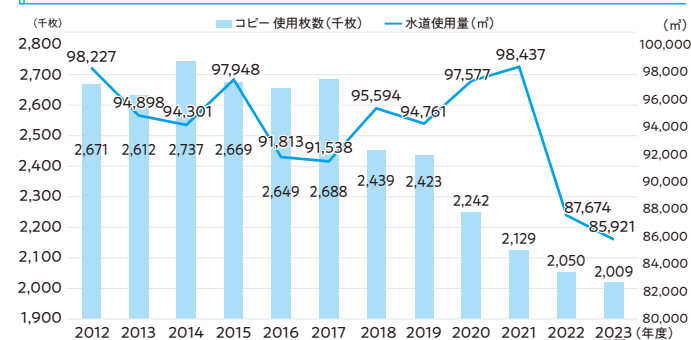
食品廃棄物削減の取り組みとして、牛豚豚脂、魚アラ、廃油、の100%回収及び再資源化、野菜くずの堆肥化による地場生産者様の善循環に取り組んでいます。

### 電力使用量と再エネ比率 7拠点に加えて、新規2拠点の稼働を予定。



自家消費型太陽光発電を7拠点稼働しており、再生可能エネルギーの利活用に取り組んでいます。今後も太陽光発電にとどまらず、再生可能エネルギーの創出や活用を検討していきます。

### 水道使用量&コピー用紙使用枚数 水漏れ対策や、節水バルブを活用しています。



水使用量について、削減意識の向上に加え節水バルブの導入で大きく効果を上げています。また、コピー用紙の使用量については、会議資料の完全廃止(iPadの活用)や社内外に向けた配布資料のペーパーレス化を行い、使用量の削減に努めています。

マルイの環境活動は店舗が主体となって、持続可能な地域づくりを目指しています。

2050年カーボンニュートラル実現をめざし、マイルストーンとして2030年度のCO<sub>2</sub>排出量の削減を2018年度比30%以上とした目標を掲げています。マルイでは、2011年に「エコアクション21」を岡山県、鳥取県の小売業として初めて取得して以来12年間すべての事業活動に伴う環境負荷低減の重要性を認識し、資源の有効活用である食品容器(トレー、ペットボトル)の回収、再資源化の推進及び食品廃棄物(魚アラ、廃油、牛豚豚脂)の100%回収など廃棄物削減に取

り組んでいます。また、エネルギー問題については太陽光パネル(自家消費型、固定買取型)の設置による再生可能エネルギーの獲得を視野に入れて再生可能エネルギーの利活用に取り組む、CO<sub>2</sub>総排出量の削減を行ってまいりました。これらもお客様、お取引先様との絆を大切に皆様からの期待や地域・社会の課題解決に対しグループ一体となって、サステナブルな環境経営を推進してまいります。

SDGs推進室 田中 匡